

## 第 12 回肩関節機能研究会のお知らせ

日 時：2017年11月25日（土）午後3時から  
場 所：千代田ファーストビル西館 3F カフェテリア  
参加費：5,000 円  
テーマ：「日韓投球バトル」

前 略

秋が深まり朝の寒さが身に染みる季節になりました。今年は「日韓投球バトル」ですが、投球障害の多様性と投球動作との関係が主要テーマです。肩関節機能研究会で投球障害をテーマにするのはこれが最後になるでしょう。そこで、今回の研究会では投球障害の原因となる多くの因子のなかで、投球動作と個々の傷害の関係スライドで説明します。また、英語を心配されている参加者の皆さまのために、Kim先生の講演PDFを事前に送っていただくようお願いし、できれば私が翻訳する予定です。場所は例年と同じ会場で皆さまのお出でをお待ちしております。

草 々

2017年11月8日  
肩関節機能研究会事務局  
浜田純一郎

## Time table

15:00 開会の挨拶 (Open remarks) 浜田純一郎 (Junichiro Hamada)

15:05-15:15 「投球動作と傷害の関係について」  
浜田純一郎

司会：鈴木一秀先生

15:20-16:10 「野球選手における肩関節内インピンジメント症候群に対する評価と  
リハビリテーション」  
京都府立医科大学整形外科 森原 徹先生

司会：名越 充先生

16:15-17:05 「投球障害の多様性をどう捉え、どう介入するか」  
東北大学リハビリテーション科 村木孝行先生

休憩 10分

司会：菅谷啓之先生

17:15-18:15 「Understanding the essential lesion of disabled throwing shoulder and the  
following solution (投球障害肩の捉え方とその対処法)」  
Dr. Young-Kyu Kim  
President of Korean Society of Sports Medicine  
Professor, Gil Medical Center, Gachon University

司会：菅谷啓之先生、山口光國先生、浜田純一郎

18:25-19:25 総合討論 (Discussion)

19:30 閉会の挨拶 (Closed remarks) 筒井廣明先生

